

日医発第 518 号（地域）
令和 5 年 6 月 7 日

都道府県医師会
担当理事 殿

日本医師会常任理事
神村 裕子
（公印省略）

日本医師会「健康食品安全情報システム」事業について（報告・令和 5 年度その 1）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本会「健康食品安全情報システム」事業については、平成 24 年 11 月 19 日付日医発第 794 号（地 I 161）の文書をもって、貴会にご案内申し上げております。

今般、本事業につきまして、会内「健康食品安全対策委員会」において 1 件の情報提供に関する判定が行われましたので、ご報告いたします。詳細につきましては、下記の専用サイトに掲載しておりますので、ご丁知の程よろしくお願い申し上げます。また、本会ホームページのメンバーズルームにも情報を掲載しております。

貴会におかれましては、今後とも、本事業へのご協力につき、よろしくお願い申し上げますとともに、貴会会員より、同様の事例の発生等の報告がありましたら、本会地域医療課宛（FAX 03-3946-2140 TEL 03-3942-6137 健康食品安全情報システム担当）にご連絡いただければ幸甚に存じます。

「健康食品安全情報システム」事業 都道府県医師会向けサイト

<https://www.med.or.jp/pshoku/index.html>

ID **** パスワード *****（紙の郵送文書に表示）

※ 恐れ入りますが、IDやパスワードを第三者に知らせることがないよう、お願いいたします。
また、メンバーズルームには、会員向け情報を掲載しています。

日本医師会「健康食品安全情報システム」事業 事例一覧(令和5年6月5日現在)

- 1)この判定結果は、当該食品と健康被害との因果関係を断定するものではありません。
2)判定は、各情報(受付番号)ごとに行います。各情報中の個々の成分について行うものではありません。
3)用語の改訂を行い、20170003より反映されております。改定された用語は括弧で区別しております。

										委員会による判定	
都道府県	受付番号	受付年月日	性別	年齢	主な成分・量	症状・異常所見・診断名等	症状等と食品の 関連性のエビデンス	重篤度	治療の経過・ 転帰	判定実施日	判定結果
滋賀県	20220001	2022/9/13	2.女性	50代後半	ナイアシン500mg	8/29 ナイアシン内服して5時間後に四肢掻痒出現。8/31 全身の紅斑と掻痒、頭痛、冷汗、ふらつきあり。9/1 当院初診、血圧100/60、ポララミンとソル・コーテフ静注施行。9/1夕方 救急外来受診、アドレナリン施行。9/2 ポララミン静注。9/3 セレスタミン処方。9/12 アレロック処方。	5.(医学的に強く推定)	4.(重篤)	2.(軽快・寛解)	2023/3/20	レベル4 (注意喚起)
岡山県	20210001	2022/3/28	1.男性	50代前半	油浸漬にんにく(生にんにく、中鎖脂肪(MCT)、ゼラチン、グリセリン	脳梗塞の診断にて入院。当該健康食品との相互作用でワーファリン作用低下の可能性。	2.(不明)	4.(重篤)	2.(軽快・寛解)	2022/6/8	レベル2 (要観察)
長野県	20200005	2021/1/25	1.男性	71	大麦若葉粉末、還元麦芽糖水飴、乳酸菌(乳成分を含む)、ビタミンC	全身に発疹、発熱	4.(医学的に推定)	3.(中等度)	2.(軽快・寛解)	2021/3/8	レベル3 (要監視)
愛知県	20200004	2020/12/16	1.男性	46	リコピン27.8mg、DHA275mg、EPA25mg、ゼラチン、ミツロウ他	蕁麻疹	5.(医学的に強く推定)	3.(中等度)	1.(回復)	2021/1/29	レベル2 (要観察)
埼玉県	20200003	2020/10/15	2.女性	70代前半	プエラリア・ミリフィカ、ビール酵母、アルファリポ酸、フラクトオリゴ糖、コーンスターチ、ゼラチン他	不正性器出血、子宮体癌	4.(医学的に推定)	4.(重篤)	5.(その他)	2021/1/29	レベル4 (注意喚起)
島根県	20200002	2020/9/12	2.女性	60	田七人参末、高麗人参粉末、マヌカハニー、ジンゼンベリーエキス末、アガベイヌリン、菊芋粉末、デキストリン、サンシュユ末、醗酵紅参エキス末、乾燥ローヤルゼリー、コラーゲンペプチド、穀物麴、納豆菌エキス末、乳酸菌混合末、乳糖他	薬物アレルギー(蕁麻疹)	4.(医学的に推定)	2.(軽微)	2.(軽快・寛解)	2021/1/29	レベル2 (要観察)
大阪府	20200001	2020/5/22	2.女性	40代後半	田七人参末、高麗人参末、難消化性デキストリン、醗酵紅参エキス末、オタネ人参果実粉末、アマチャズルエキス末、抹茶、マヌカはちみつ/結晶セルロース他	下痢・嘔吐	4.(医学的に推定)	2.(軽微)	1.(回復)	2020/5/27	レベル2 (要観察)
兵庫県	20190005	2019/11/25	2.女性	40代	田七人参末、高麗人参末、醗酵紅参エキス末、オタネ人参果実粉末、アマチャズル抽出物、抹茶、マヌカはちみつ/結晶セルロース、ヒマワリレシチン、(一部に乳成分を含む)	便秘	3.(関連性が否定できない)	2.(軽微)	1.(回復)	2019/11/28	レベル3 (要監視)
熊本県	20190004	2019/11/21	2.女性	40代後半	びわの種の粉末 1g/包	吐き気、嘔吐、気分不良	3.(関連性が否定できない)	3.(中等度)	1.(回復)	2019/11/28	レベル4 (注意喚起)
東京都	20190003	2019/5/8	2.女性	40代前半	ハチ花粉(スペイン原産)。花粉の種類はワイルドフラワー(シスタス、ヒナゲシ、オオバコ、ユーカリ、ラベンダー等)	アレルギー(疑)舐めてから5分程でヒューヒューと息苦しくなり、吐き出したら30分-1時間程で元に戻った。	3.(関連性が否定できない)	2.(軽微)	1.(回復)	2019/6/13	レベル4 (注意喚起)
熊本県	20190002	2019/3/18	2.女性	70代前半	にんにく、卵黄	術中の易出血性、術後のドレーン刺入部付近の血腫	3.(関連性が否定できない)	3.(中等度)	2.(軽快・寛解)	2019/3/22	レベル2 (要観察)
神奈川県	20190001	2019/2/13	2.女性	60代前半	ロイシンを主とするアミノ酸、甘味料、ビタミンD他	肝機能障害	3.(関連性が否定できない)	3.(中等度)	1.(回復)	2019/3/22	レベル2 (要観察)
埼玉県	20180003	2018/12/12	2.女性	70代前半	プエラリア・ミリフィカ他	不正性器出血	5.(医学的に強く推定)	2.(軽微)	1.(回復)	2019/3/22	レベル4 (注意喚起)
愛知県	20180002	2018/8/17	2.女性	70代前半	サジー、ステビア	掻痒	4.(医学的に推定)	1.(その他)	1.(回復)	2018/12/21	レベル1 (要保存)
愛知県	20180001	2018/4/28	2.女性	70代前半	ローヤルゼリー粉末(詳細確認中)	肩こり・歯肉痛・顔面神経麻痺	-	-	-	-	判定保留
神奈川県	20170005	2018/3/31	2.女性	70代後半	62種類の成分を含むとする健康食品3種類	高度脂肪肝	4.(医学的に推定)	4.(重篤)	2.(軽快・寛解)	2018/5/31	レベル4 (注意喚起)

										委員会による判定	
都道府県	受付番号	受付年月日	性別	年齢	主な成分・量	症状・異常所見・診断名等	症状等と食品の 関連性のエビデンス	重篤度	治療の経過・ 転帰	判定実施日	判定結果
広島県	20170004	2018/1/18	2.女性	50代後半	※異物混入疑い(健康食品に甲状腺ホルモン混入疑い)	-	-	-	-	-	判定保留
埼玉県	20170003	2017/12/28	2.女性	60代前半	米酢・リンゴ酢・柿酢・梅酢	右胸部の異常知覚、右足の筋力低下(急速進行)。医大にて視 神経脊髄炎と診断	2.(不明)	4.(重篤)	2.(軽快・寛 解)	2018/3/8	レベル2 (要観察)
岡山県	20170002	2017/10/23	2.女性	80	グルコサミン	全身に2-3cm大の紅色斑の多発	4.医学的に推定	1.その他	1.回復	2018/3/8	レベル3 (要監視)
福岡県	20170001	2017/4/6	2.女性	74	ボルトジンユ(南米原産ハーブ・ネットモールの園芸店販売HP にて効能記載あり)	薬物性肝障害	4.医学的に推定	4.重大な症状	1.回復	2017/6/15	レベル4 (注意喚起)
岩手県	20160004	2017/2/21	2.女性	65	蛎殻加工食品、アセロラ加工食品、植物濃縮物加工食品	肝機能悪化	2.不明	1.その他	1.回復	2017/6/15	レベル1 (要保存)
愛知県	20160003	2016/07/12	1.男性	34	青黛(indigo naturalisなど)	大腸内視鏡で盲腸の異常血管増生像あり。症状はないが、他 医の報告と合わせて右側結腸炎と考える。	4.医学的に推定	4.重大な症状	3.未回復	2016/11/2	レベル4 (注意喚起)
愛知県	20160002	2016/6/10	2.女性	48	プロテイン(人工甘味料・VC・亜鉛)、MSM、ヘム鉄、サプリ(プ ラセンタ・CoQ10・エラスチン・コラーゲン・コンドロイチン)	アトピー性皮膚炎の悪化・急激な体重減少・米小麦アレルギー がないのに除去を行っている。	3.医学的に疑い	3.全身的症状	1.回復	2016/6/22	レベル4 (注意喚起)
東京都	20160001	2016/5/23	2.女性	26	アサイー、クエン酸(酸化防止剤)	腹部・背部の多形紅斑	3.医学的に疑い	3.全身的症状	1.回復	2016/6/22	レベル4 (注意喚起)
愛知県	20150005	2016/02/20	2.女性	41	玄米胚芽・表皮、玄米、麹菌、貝カルシウム、スピルリナ 玄米胚芽・表皮、玄米、麹菌、貝カルシウム	湿疹、じんま疹、肝機能異常	3.医学的に疑い	2.局所的症状	2.軽快	2016/5/10	レベル3 (要監視)
愛知県	20150004	2016/02/19	2.女性	69	大麦若葉末、ぶどう糖 ビルベリー・カシス・ルテイン・アスタキサンチン・メグスリノキ 野草	顔面、両手、両上肢、腹部、両下肢の紅斑、皮疹、そう痒	4.医学的に推定	2.局所的症状	2.軽快	2016/5/10	レベル4 (注意喚起)
東京都	20150003	2016/02/10	1.男性	56	台湾の花連産の黄金しじみ	ワーファリン服用中だが、2013年7月頃からPT-INRの値が不安 定となっており、ワーファリンの増量が急に必要となった。 半年前から当該商品を読み始めており、その影響が疑われた ため中止したところ、PT-INRの値は安定した。 製造販売業者に問い合わせたところ、当該商品2粒当たりVK (フィロキノン)を0.15μg含有しているとの回答あり。	4.医学的に推定	1.その他	1.回復	2016/5/10	レベル4 (注意喚起)
愛知県	20150002	2016/02/09	2.女性	67	黒酢		2.不明	未記入	5.その他	2016/04/06	不実施
石川県	20150001	2015/04/17	2.女性	65	麹菌培養エキス、パパイア、有胞子性乳酸菌	製品を飲んだところ、かゆみを伴った皮疹が両大腿部と上肢に 出現、やめたら出なくなった。まさかと思い、再度飲んだところ再 び皮疹が出現した。	4.医学的に推定	2.局所的症状	2.軽快	2015/4/23	レベル4 (注意喚起)
愛知県	20140003	2014/12/19	2.女性	61	サメ軟骨抽出粉末(コンドロイチン・Ⅱ型コラーゲン含有)、グル コサミン(カニ・エビ由来)、セルロース、ショ糖脂肪酸エステル、 酵素処理ルチン、酸化ケイ素、光沢剤	顔面手足の紅斑、浮腫 全身のそう痒	4.医学的に推定	4.重大な症状	2.軽快	2015/4/23	レベル4 (注意喚起)
神奈川県	20140002	2014/12/16	2.女性	15	リボフラビン酪酸エステル(ビタミンB2酪酸エステル)、ピリドキ シン塩酸塩、アスコリビン酸、L-システイン、ヨクイニンエキス、 ニコチン酸アミド、ビオチン、添加物	発熱 MAX39.6℃	2.不明	1.その他	1.回復	2015/02/05	判定保留
広島県	20140001	2014/12/16	3.不明	61	オルチニン	11/14 特定健診でAST46,ALT71, γ-GTP178,HBsAG(-),HCV(-),アルコール歴なし、オルチニンを 中止し、11/25 AST18,ALT17,γ-GTP82	2.不明	1.その他	1.回復	2015/02/05	レベル1 (要保存)

										委員会による判定	
都道府県	受付番号	受付年月日	性別	年齢	主な成分・量	症状・異常所見・診断名等	症状等と食品の 関連性のエビデンス	重篤度	治療の経過・ 転帰	判定実施日	判定結果
東京都	20130009	2014/1/20	2.女性	73	ロイヤルゼリー	大量腹水、黄疸(軽度)、急性肝不全(非昏睡型)、肝類洞閉塞症候群、肝生検未施行ですがエコーCT, MR施行。	無記入	4.重大な症状	3.未回復	2014/1/30	不実施
					グルコサミン						
					フルスルチアミン、ビタミンB6、ビタミンB12、ビタミンE						
					穀物麴						
					ごま酢						
					桑の葉						
					コエンザイムQ10						
					カルシウム						
					うなぎ肝臓						
					ビタミン類						
未記入	20130008	2014/1/9	2.女性	90	グルコサミン、鮫軟骨抽出物、発酵コラーゲン分解物	H25/9/14 定期血液検査で γ -GT45と上昇あり。9/20受診時にサプリメント中止を指示していた。サプリメント内服開始(H25/6)～10月まで自覚、他覚症状は著変なし。11月体調不良で緊急入院となり、現在フィッシャー症候群として他院入院中のようなです。	2.不明	3.全身的症状	2.軽快	2014/1/30	レベル2 (要観察)
栃木県	20130007	2014/1/6	2.女性	67	ローズヒップ抽出物(ビタミンC1500mg バイオフラボノイド150mg	2013年9月中旬より3種類のサプリメントを飲み始めた。10月中旬より左第2指、4指に腫脹や疼痛が出現した。症状が続いたため、10月下旬にサプリメントを中止したところ、軽快した。	3.医学的に疑い	2.局所的症状	2.軽快	2014/1/30	レベル3 (要監視)
					ローズヒップ抽出物(マルチビタミン、ミネラル)						
					アスタキサンチン(海洋生物に存在する色素、カロテノイドの一種)、ビタミンE、ビタミンC)						
滋賀県	20130006	2013/11/15	2.女性	46	プロポリス、分離大豆たんぱく、蜂蜜、アーモンドフレーバー、セルロース、リン酸Ca、微粒酸化ケイ	10/17よりサプリメント服用開始。10/31両掌皮膚炎があり中止。両掌指間、手掌に小水疱を認め、その後落屑、発赤、かゆみは少ない。	4.医学的に推定	2.局所的症状	2.軽快	2014/1/30	レベル3 (要監視)
					みつばち花粉、蜂蜜、セルロース						
					分離大豆たんぱく、果糖、アミノゲン、大豆油、亜鉛酵母、セレン酵母、アロエベラ、レシチン(大豆由来)、クロム酵母、ビール						
					酵母、スピルリナ、イヌリン、リン酸Ca、香料、リン酸Na、ナイアシン、パントテン酸Ca、葉酸、ビタミン(A、B1、B2、B6、B12、C、D)、増粘剤(グァーガム)、甘味料(スクラロース、ステビア)						
					アロエベラジェル、イソマルトオリゴ糖、レモン・ライム、クエン酸、酸化防止剤(VC、VE)						
愛知県	20130005	2013/10/03	2.女性	60	コエンザイムQ10	閉経後の不正出血、これまでに複数経験した報告ですから、上記身長体重などの数値は例です。	4.医学的に推定	1.その他	6.未記入	2014/1/30	不実施
熊本県	20130004	2013/10/15	2.女性	70	黒酢濃縮粉末	胃粘膜病変(黒酢によるとと思われる胃炎)	4.医学的に推定	2.局所的症状	6.未記入	2014/1/30	不実施
兵庫県	20130003	2013/09/24	2.女性	74	コエンザイムQ10	平成25年2月26日より、コエンザイムQ10を服用し始め、3月下旬より下痢が出現し、続くため、5月11日に血液検査を行ったところ、GOT452 μ /l、GPT992 μ /lに異常高値を認め、同剤の服用中止を指示、同剤による肝障害と診断。	4.医学的に推定	1.その他	2.軽快	2013/10/31	レベル4 (注意喚起)
埼玉県	20130002	2013/09/16	3.不明	84	クマザサ	薬疹、手足(発赤、水泡を伴う疹多発)を中心に、顔、耳、体に発赤	3.医学的に疑い	3.全身的症状	2.軽快	2013/10/31	レベル4 (注意喚起)
					昆布						
					サンゴカルシウム						
					乳酸菌						
					サメ軟骨						
					ビタミンB1、2、6						
兵庫県	20130001	2013/09/13	2.女性	78	ヒアルロン酸含有鶏冠抽出物、ビタミンD	高カルシウム血症による歩行障害(血清カルシウム 12.6)	4.医学的に推定	4.重大な症状	1.回復	2013/10/31	レベル4 (注意喚起)
兵庫県	20120005	2013/01/19	2.女性	80	コラーゲンペプチド、乳糖、グルコサミン、セルロース、ショ糖エステル	肝機能障害、下腿浮腫、GOT323 GPT319 γ -GTP243と上昇。9月14日に同健康食品を中止することにより、肝機能は改善された。	4.医学的に推定	4.重大な症状	1.回復	2013/01/23	レベル4 (注意喚起)
東京都	20120004	2012/11/14	1.男性	84	DHA300mg、EPA100mg、セサミン10mg、その他	間質性肺炎(慢性)、労作時息切れ(平成24年8月頃から)	2.不明	1.その他	3.未回復	2012/11/14	レベル1 (要保存)

										委員会による判定	
都道府県	受付番号	受付年月日	性別	年齢	主な成分・量	症状・異常所見・診断名等	症状等と食品の関連性のエビデンス	重篤度	治療の経過・転帰	判定実施日	判定結果
三重県	20120003	2012/11/09	2.女性	70	グルコサミン	1/26 GOT 18 ,GPT 15 7/11 GOT154 GPT 206急激な肝機能異常で問いかけた。 7/23 GOT 257 GPT 265	3.医学的に疑い	3.全身的症状	1.回復	2012/11/14	レベル3 (要監視)
石川県	20120002	2012/08/06	2.女性	60	天然ハスカップエキス、ブドウ種子エキス、モロヘイヤ、ビタミン類	胆汁うっ滯型肝障害	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2012/11/14	レベル3 (要監視)
愛媛県	20120001	2012/10/31	2.女性	68	不明(一般的には、青汁は、ケール、大麦若葉ないし明日葉など)	平成17年頃から(顔以外)頭～体全体の発疹がでてかゆみがある。じんましん	2.不明	1.その他	2.軽快	2012/11/14	レベル1 (要保存)
愛媛県	20110006	2011/11/24	2.女性	48	還元麦芽糖水飴、難消化性デキストリン、大麦若葉粉末、ゴーヤー粉末、ケール末、ビタミンC、ビタミンB群、ナイアシン、葉酸、甘味料	全身のかゆみ	2.不明	1.その他	2.軽快	2011/12/01	レベル1 (要保存)
茨城県	20110005	2011/06/13	1.男性	50	クルクミン、秋ウコン末、春ウコン末	胃部不快、黄疸(T-Bil 24.72 D-Bil 17.91)、劇症肝炎(PT 34.2%)、AST1906 ALT2418	5.医学的検証済み	4.重大な症状	3.未回復	2011/09/29	レベル5(警告・禁止)
栃木県	20110004	2011/06/02	2.女性	62	アサイーエキス末、グレープシードオイル、オリーブ油、ミツロウ、グリセリン脂肪酸エステル	2010年4月ごろよりアサイーを摂取した折、4月より肝機能の上昇あり。12月27日にはAST/ALT 45/81まで上昇した。3月22日診察時にアサイーの中止を勧め、中止したところ、徐々に肝機能の回復あり。ASTは正常、ALTは43まで低下した。この間、当院からの処方内容に変化ない。経過より。アサイーによる肝機能障害と診断した。	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2011/09/29	レベル3 (要監視)
静岡県	20110003	2011/05/17	2.女性	67	グルコサミン塩酸塩、鮫軟骨抽出物、コラーゲン	尿所見:混濁、雲翳(nubecula)。摂取をやめたら正常に戻った。尿蛋白(++)、沈査(nubecula)クレアチン高め、現在は正常範囲。	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2011/05/20	レベル3 (要監視)
福岡県	20110002	2011/04/26	2.女性	32	独自ブレンド、ゼラチン他 ボロン(トリボロンコンプレックス)、ライスフラワー、ゼラチン フェヌグreekシード、ゼラチン	毎年乳がん検診を受けて、昨年まで異常なしであったのに、豊胸を効果にあげて販売されるサプリを服用したところ、右胸が痛くなり、6ヵ月後に6cm大の進行乳がんと診断を受けた。	2.不明	1.その他	3.未回復	2011/05/20	レベル3 (要監視)
愛知県	20110001	2011/04/11	1.男性	83	ヒアルロン酸	●●を2錠／日飲んだら(9/11～9/18)、新鮮血を下血した。水様体の下痢も認めた。	2.不明	2.局所的症状	2.軽快	2011/05/20	レベル2 (要観察)
青森県	20100002	2010/10/29	1.男性	63	シャークリバーオイル他 ビルベリーエキス他	9月22日早朝より発熱(38度)と心窩部痛あり。当院受診にて診察、精査を施行。生化学検査で肝機能障害あり、内服薬及びサプリメントを中止させる。	3.医学的に疑い	3.全身的症状	2.軽快	2011/02/23	レベル3 (要監視)
福島県	20100001	2010/04/06	2.女性	61	茶	約3ヶ月間、内服を中止したことにより、血糖値の急激な上昇。4ヶ月間受診なし。	1.関連なし	1.その他	6.未記入	2011/02/23	レベル1 (要保存)